

議会報告会 会場報告書

担当班：3班

班代表者：小島 政行

概要			
地区名：大芋地区 日時：平成29年5月26日（金） 7：30～9：00 場所：旧大芋小学校 多目的ホール 参加人数：28人（男26人・女2人）	【出席議員】 小島 政行 奥土居帥心 森本 富夫 園田 依子 安井 博幸 向井 千尋	(1) 開会あいさつ：小島 政行 (2) 議会報告：奥土居帥心 (3) 質疑応答：下記参照 (4) 意見・提言等：下記参照 (5) 閉会あいさつ：安井 博幸	挨拶・総括：小島 政行 司会進行：森本 富夫 報告：奥土居帥心 受付・記録：安井 博幸 向井 千尋 会場（マイク）：園田 依子

【主な質疑】

質疑・意見	回答
・総務文教常任委員会の保育士確保に係る視察について、どのようなことを学び生かしていけるのか。今年度3名の新規採用となっているが、まだ足りないのか。子どもたちの教育は充分でないと思う。	・視察先については大学へ行き求人、就職フェアを行っていますが、本市では行っていません。保育園、こども園でも保育士が不足していますが、市は、市職員450人枠に拘らないと考えています。正規職員での採用募集をすれば、応募はあると議会としても申し入れています。保育士等の処遇改善を含め、総務文教常任委員会で調査研究していきます。
・サル対策。ふるさと一番会議でも市長にお願いしたが、法律で決まっているからダメだと言われた。有線放送聞いているが、サルも予想通りには動かない。議会としてどう考えるか。	・過去は西紀のA群で90～100匹のサルが出ていました。野菜も半日もあれば全滅していたようです。サルの種を保存する義務がありますが、獣害対策により捕獲も積極的にやっています。そのおかげでA群は半分くらいになりました。サルを追う煙火の免許を多面的機能事業で活用できるので担当課に伝えます。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・退職した部長を再雇用しているが、若い人を雇ってはどうか。経験と知恵を生かしてもらうのは大事だが、若い人材を育てなければいけないと思う。なぜ、それを議会が通したのか。今まで再任用はあったのか。おかしい人事をしておいて、保育士を雇えないのはおかしいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士については延長をお願いしています。部長の再任用は65歳定年となり、繰り上がっているのは、国全体の傾向としてあります。
<ul style="list-style-type: none"> ・この報告会が篠山地区では開催されないのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この報告会は年間通じて行っており、5月に9地区、11月に10地区で開催しています。3月に市名に関する要望書が提出された中、報告会の開催スケジュールはそれ以前に決まっており、篠山については11月と決まっていたことによります。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が47%にまで進む中、定住促進が課題である。また、高齢者の移動手段が課題である中、公共交通の取り組みも運転手の確保が大変な状況である。更に、地域で大きな団体の小学校を活用していくことは簡単ではない。大芋地区では、これら大きな課題がある。 ・大芋地区が活性化するよう議会としても支援して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福住地区における旧福住小学校跡地活用についても、月1回市民協働課と協議されている中、校舎の見学会等を開催されていますが、なかなか活用案が決定していない状況であると聞いています。高齢化、跡地活用や公共交通と大きな課題であり、地域としても苦慮されていることから、執行部に繋ぐとともに、議会としても注視していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・TVでイルカかアシカか、魚を食べて漁獲が減ったと聞く。頭数を管理することが大切。サルもどんどん増えたら農業もやる気がなくなる。高齢化も進む。小学校の跡地でサルの研究所を作るとかやってもらってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年前よりサルの電器柵事業をしている中、有効活用して、適正頭数を捕獲していくよう議会として注視していきます。